

▼鍵の聖句:ヤコブ 1:2~5

「わたしの兄弟たち、いろいろな試練に出会うときは、この上ない喜びと思いなさい。信仰が試されることで忍耐が生じると、あなたがたは知っています。あくまでも忍耐しなさい。そうすれば、完全で申し分なく、何一つ欠けたところのない人になります。あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなくとがめだてしないでお与えになる神に願いなさい。そうすれば、与えられます。」

▼学ぶ人は…:

知る:寛容(忍耐)を実践することが難しいことがある現実を受け入れる。

感じる:寛容を培いたいと熱心に願う。

行う:試みや困難な状況で寛容を実行する。

▼導入活動のヒント:

- ① 質問をしてみましょう:寛容とは何でしょう。寛容は、神のご品性とどのように関係がありますか。なぜ、寛容は私たちの霊的歩みと成長に、そんなに重要なのでしょうか。

▼学習の計画:

I. <知る>:忍耐を学ぶ

A) ヤコブの手紙 1:2~5 は、喜びと忍耐という霊の二つの賜物を、一緒に合わせています。

1. 忍耐する必要はどうやってわかりますか。忍耐することが難しいと感じるのはなぜですか。どんな状況で、忍耐を実践するのが一番難しいでしょうか。
2. クラスの皆さんに我慢できなかった状況を話して下さるよう頼んでください。どうしたら、その状況を避けることが出来たと思いますか。
3. 忍耐を必要とする状況の、どこで喜びが入ってくるのでしょうか。

II. <感じる>:忍耐を培う必要

A) 霊の他のすべての賜物を同じく、忍耐を培うことには、選択を実践することが必要となります。忍耐がうまく出来ないとき、どう対処したら良いでしょうか。

III. <行う>:争いのただ中で忍耐を実行する

A) 争いは、しばしば生活の中で避けられないものですが、そのためには、どうしたら最も上手に備えることが出来るでしょうか。

B) ヤコブは、信仰の試みを耐えることは、忍耐と霊的な成熟につながることを悟るようにと教えています。忍耐が出来なくなるのを避けるようにするには、試みにどう対応したら良いでしょうか。自分のことで心が一杯になっていると、我慢できない原因になりますか。

▼まとめ:忍耐を培うことは、しばしば難しいことです。私たちに對する神の忍耐を瞑想することは助けとなります。利己的考え方や自己中心が、私たちの成長を妨げる大きな障害であることを理解するとき、霊的に成長するため神の恵みを求めるようになります。